

2023年度業務実績報告書

提出日 2024年1月10日

1. 職名・氏名 助教・芝田有希

2. 学位 学位 博士、専門分野 商学、授与機関 関西学院大学、  
授与年 2023年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等

流通論(2単位)(2年生以降)、消費者行動論(2単位)(2年生以降)、演習Ⅰ(4単位)(3年生)、演習Ⅱ(4単位)(4年生)、基礎ゼミ(2単位)(2年生)、外書講読Ⅰ(2単位)(2年生)

② 内容・ねらい

【流通論】流通を理解するための重要な概念・流通を担う多様な業種(業態)の特徴・流通を担う多様な業種(業態)の社会的な役割や存在意義、今日的な課題を正しく理解できるようになる。

【消費者行動論】消費者行動に関する基本的な専門用語の定義や概念を説明できるようになる。特に、消費者行動論と関連の深い心理学領域の知識について集中的に学ぶ。

【演習Ⅰ】教科書を輪読し、マーケティングの基礎知識を習得した。その後、実際の企業の成功事例や失敗事例(ケーススタディ)に関する原因を考察し、「なぜ、その製品/サービス/企業は成功/失敗したのか?」についてプレゼンテーションを行った。後期授業では、グループに分かれて研究テーマを設定し、調査や分析の結果をゼミコンで報告した。

【演習Ⅱ】演習Ⅰで学んだこと(ex. マーケティングの基礎知識、ゼミコン)を基に、卒業論文のテーマを設定し、先行研究レビュー、アンケート調査、事例研究などを実施した。最終的には、すべての研究結果をまとめたものを、2024年1月に提出する予定である。

【基礎ゼミ】資料の作成方法、プレゼンテーションの方法に実践を通して学ぶ。また、初歩的なマーケティングに関する基礎知識(マーケティング・ミックス、STP分析)を身につける。

【外書講読Ⅰ】経済、マーケティングに関する英文記事を輪読した。また、マーケティングの基礎知識に関する洋書(一部抜粋)も輪読し、英語の専門書も時間をかければ読めるということを実感させるとともに、自分自身で英和辞書を用いて、日本語訳を探すことの重要性を伝えた。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

【流通論】定期的に講義内容や流通に対する質問・疑問を回収し、次回講義の冒頭で、興味深い質問に対する回答・解説を行った。回答の際には、受講生になじみ深い、地元企業や全国展開している企業の実例を用いることで、彼らの理解が促進されるよう努めた。

【消費者行動論】講義内では心理学領域の専門的な知識の説明が中心となったため、学生たちが理解しやすいように、それらの知識が実務で用いられている事例を挙げて説明し、彼らの理解が促進されるよう努めた。また、定期的に授業内アンケート調を実施し、分からない点や疑問点を収集し、学生たちの疑問をそのままにしないよう最大限配慮した。

【演習Ⅰ】一方向的な講義やプレゼンテーションになることがないように、毎講義30分程度はディスカッションや質疑応答の時間を作り、全ゼミ生が自分の考えを一度以上発言する機会を設けた。教室での講義だけではなく、フィールドワークに積極的に参加し、実際に働いている

方にインタビューをすることで、実務的な視点からの学びを得るよう心掛けた。

【演習Ⅱ】卒業論文のテーマ設定を完全に学生の裁量に任せ、彼ら自身が興味を持っているテーマを選択させた。また週1回のゼミに加えて、オンラインゼミの時間を定期的に設定し、学生の相談に可能な限り早く対応できるよう心掛けた。

【基礎ゼミ】マーケティングに関する基礎知識(マーケティング・ミックス、STP 分析)を学ぶと同時に、彼ら自身で考える時間を設け(グループディスカッション)、一方的な講義にならないよう心掛けた。また、彼らの学びの集大成として、プレゼンテーション(約15分)を行った。

【外書講読Ⅰ】一回当たりの課題を少なくする代わりに、講義時間内で一つ一つの英単語を英和辞典で調べて日本語訳にすることを徹底した。翻訳サイトからのコピペでは、拾い上げられない翻訳のニュアンスの違いをしっかりと考える機会にしたかった。

## (2)その他の教育活動

内容

- ・日本原子力発電所 敦賀発電所見学 (2023年9月21日)  
参加学生：演習Ⅰおよび演習Ⅱのゼミ生12名  
…敦賀発電所概要説明→敦賀発電所2号機内見学  
→粉砕対調査現場、敦賀発電所3、4号機建設予定地見学

【フィールドスタディ：1件】



## 5. 地域・社会貢献活動

### ①-4 げんでんネクサス委員

担当期間：2年(2022年4月~2024年3月)

- ・2023年3月22日：第3回げんでんネクサス委員懇親会
- ・2023年11月9日：原子力発電所施設見学会

(業務内容)

【懇談会】日本原子力発電株式会社様(以下、げんでん)より、事業運営状況等についての報告があった。その後、原子力発電への理解を深めるために、基調講演(「世界の原子力の現状は?」、福井大学附属国際原子力工学研究所 玉川洋一先生)を拝聴した。また、ワークショップでは「原子力発電の必要性(再稼働)」について、げんでんネクサス委員とげんでん担当者の中で、活発なディスカッションが行われた。

【見学会】敦賀原子力館、敦賀発電所2号機内部、破砕帯調査現場、3,4号機建設予定地に見学へ行った。敦賀原子力館では、原子力発電所の概要、内部構造、発電システム、および3,4号機の建設状況に関する説明があった。その後、敦賀発電所2号機内部を見学し、原子力発電所の安全管理が徹底されていると感じた。破砕帯調査現場、3,4号機建設予定地の見学では、げんでんが新たな発電所を設置するために、可能な限り環境に配慮し、植林や藻場の再生に取り組んでいることを知った。

### ⑥ 公開講座、オープンカレッジ、社会人・高校生向けの講座

- ・ふくい企業価値共創ラボ(社会人向け講座)

タイトル：「マーケティング」、開催場所：経済学部棟 E204 教室、開催日時：11/24

- ・高校生への出張講義

タイトル：1年生総合探究リレー講義、開催場所：勝山高校、開催日時：8/24, 10:30-12:15

タイトル：金津高校学問発見講座、開催場所：金津高校、開催日時：12/14, 9:30-12:00

### ⑦ 福井テレビからの取材

(業務内容)

- ・テレビ番組『ナンダーワンダー』内で、取り上げる視聴者からの疑問(「どうして納豆は3パックで売られているの?」)に対して、消費者行動の観点から解説する。

## 6. 大学運営への参画

### (1)補職

### (2)委員会・チーム活動

オープンキャンパス委員(2022年~現在に至る)

### (3)学内行事への参加

- ・オープンキャンパス(オンサイト(8/6)、オンライン(8/27))
- ・入試説明会(美方高校、7/6,15:50-16:50)、
- ・SMAP インターゼミナールコンテスト (12/28、共通講義棟 L209&L210 教室、8:30~14:00)

### (4)その他、自発的活動など